

予備試験対策講座 11月11日

テーマ

「受験的論面勉強」

## 1 自己紹介

村上 ゆりあ

経歴 2017年3月 明治大学 卒業  
2017年4月 東京大学法科大学院 入学  
2017年 予備試験 合格  
2018年 司法試験 合格

## 2 受験的論面勉強とは

### (1) 「論面勉強」とは

- ・司法試験合格者を100人以上輩出されてきた神田英明先生が提唱

- ・論点主義からの脱却

論点を論「点」として勉強するにとどまると…

↓

いわゆる論点主義の弊害

- ・自分が書きたい論点にあわせて事例を都合よく捻じ曲げてしまう
- ・パターン化された論証を張り付けるマシーンになり、問題の核心から外れた答案になる。
- ・論「点」だけを見つめていても論証の上辺の理解しかできない
- ・マジックワードの切り貼り、全体的にちぐはぐ

↓

法律の根幹にある原理原則まで遡って考えることで、

すべての論「点」を「線」で繋ぎ「面」にする。

→いったん「面」を捉えられれば、どの論点も自分で導き出せるようになる。

- ・ただ、原理原則を理解するのは難しい。

↓

理解のための下準備が必要。

### (2) 「受験的論面勉強」

- ・原理原則を具体的な事例に触れて理解するのが分かりやすい
- ・幹を理解するには枝葉から

- ・憲民刑民訴刑訴商行政の7科目→量が膨大なので効率が大事

問題演習書で事例とセットで論「点」収集

↓

基本書や授業で各論点を原理原則で繋げる＝「点」を「線」そして「面」にする  
2ステップ！！

### 3 「点」の収集

#### (1)問題演習書をひたすら読む

ア やりかた

解答付きの問題演習書をひたすら読む！

1～2周目：答案を読む

3～5周目：問題文→答案を読む

マーカーで答案を加工

6周日以降：問題文→答案構成→答案を読む

イ メリット

- ・事例とセットでイメージしやすい
- ・答案というゴールに近い形でインプットできる  
→遠回りしなくて済む！効率的！

ウ 読む際のポイント

☆自分の言葉で置き換える

☆なぜ？を繰り返し原理原則まで遡る

エ 問題演習書の選び方

- ・網羅性
- ・良質な問題
- ・良質な解答

オ 番外編～完全答案作成のすすめ～

- ・素材は何でもいいので、「問題提起」「規範と理由付け」「あてはめ」「結論」を自分史上

最高の出来に仕上げた完全答案を作成してみる。

- ・ 2～5通でいい。
- ・ 過去問の上位答案や学者・実務家が書いた答案を参考にしてみてもいい。
- ・ ナンバリングもすること。

↓

答案の型を自分で実感する。

箱が用意出来たら、あとは中身を入れるだけ！

## (2) 短答で細かい知識をカバー

- ・ 予備試験短答式試験

法律7科目(各30点)

一般教養(60点)

計270点のうち合格に必要な点数160～170点

↓

どう突破するか！

- ・ 短答対策で培われる「条文知識」「判例知識」は論文でも大きな武器になる  
→ 「点」の収集

- ・ 短答は勉強量が勝負！
  - ・ 過去問の繰り返し
  - ・ 条文の素読

## 4 「点」を「線」でつなぎ「面」にする

「点」の収集で終わってしまうと、論点主義の弊害が…

↓

最も大切な工程！！

大学や予備校の講義、基本書などで体系を学ぶ。

その際、「原理原則」とのつながりを意識する。

問題演習書や短答で知識をインプット済みであれば、その知識同士が原理原則を通して繋がっていることを実感できるはず。